



2023年4月5日

ラベル台紙の水平リサイクル実証化 アンプル注射剤用ラベルに初適用

シオノギファーマ株式会社（本社:大阪府摂津市 代表取締役社長 加藤 晃、以下「シオノギファーマ」）は、ラベル台紙¹⁾の水平リサイクル²⁾を目指す「資源循環プロジェクト」に参画し、2022年4月より実証実験に取り組んでまいりました³⁾。本実験の結果に基づき、2023年3月より、シオノギファーマは、アンプル注射剤用のラベルに「資源循環プロジェクト」における循環型の水平リサイクルスキームを、商用生産として初めて適用し、使用済みラベル台紙の回収を開始しましたので、お知らせいたします。

この度の取り組みにおいて、SHIONOGI グループの医療用医薬品（アンプル注射剤 9 品目）へ順次適用を進め、シオノギファーマにおける廃棄物発生量の削減（約 0.5 トン/年）、廃プラスチック再資源化率の向上、CO₂ 排出量の削減（約 0.5 トン/年）に貢献いたします。また、シオノギファーマは今後も、バイアルや梱包箱など他用途のラベルへ「資源循環プロジェクト」のスキーム展開を進めてまいります。

SHIONOGI グループでは、SHIONOGI Group Heritage（SHIONOGI の基本方針）ならびに SHIONOGI グループ行動憲章のもと、取り組むべき重要課題（マテリアリティ）として「環境への配慮」を特定し、環境保護に貢献するための中長期的な行動目標を定めるとともに、その実現に向けた活動を推進しています。

シオノギファーマは、シオノギファーマ EHS ポリシーにおいて掲げている、地球環境の保護および汚染の予防、ともに働くすべての人々と地域社会の安全衛生の確保に配慮し、安心できる職場づくりと持続可能で豊かな社会の実現に貢献することを目指して、今後もさらなるサステナブルな包装材料の開発・実装を推進してまいります。



【構内に設置した回収ボックス】



【出荷される適用製品への表示（外箱）】

以上

【お問い合わせ先】

シオノギファーマ株式会社 CDMO 事業部

TEL : 06-6381-7402 FAX : 06-6381-5960

お問い合わせ : <https://cdmo.shionogi-ph.co.jp/inquiry.html>

資源循環プロジェクトについて

資源循環プロジェクトは、これまで資源として回収・再利用されることなく廃棄・焼却されていたラベル台紙を、再生 PET 製の「リサイクル専用台紙」に置き換え、使用後に回収・マテリアルリサイクルを行うことで、同じリサイクル専用台紙の原材料として使用し、ラベル台紙の廃棄をゼロにする、環境に配慮した取り組みです。資源循環プロジェクトは、シオノギファーマも参加する「循環経済パートナーシップ (J4CE⁴⁾」において、「注目事例集 2022 年度版」に掲載されるなど、大きな関心を集めています。

▼資源循環プロジェクト公式ホームページ

<https://www.shigenjuncan.com/>

▼実証実験の詳細

<https://cdmo.shionogi-ph.co.jp/media/topics/a56>

【参考】

- 1) ラベルの糊面を保護するための裏紙（剥離紙、セパレーター）。ラベルの糊と接着しないように樹脂素材のコーティングを施すため、一般にリサイクルが困難である。
- 2) 使用済みの製品を原材料として、同一製品を製造するリサイクル。
- 3) [ラベル台紙の水平リサイクル実証化に向けた共同開発契約の締結](#)
- 4) 循環経済へのさらなる理解醸成と取り組みの促進を目的とした官民一体の枠組み（Japan Partnership for Circular Economy）。